

三谷八幡神社



御祭神は誓田別尊（ほんだわけのみこと）
社伝では創建は延宝（1080）の頃と
される。三谷の名前は三谷地区の氏神と
された事による。

大戦の戦災で社殿が消失。然し昭和
32年に地元の方々の力により社殿が
再建され今日にいたっています。
春秋を通じ縁陰の濃い境内です。

三谷八幡神社のホーム
ページは右の QR コードから



注意事項

小山両社祭連合渡御にあたっては、以下の点に注意して、楽しく盛大なお祭りにしたいと思います。尚、各神輿会責任者及び実行委員朱半纏の指示に従ってください。

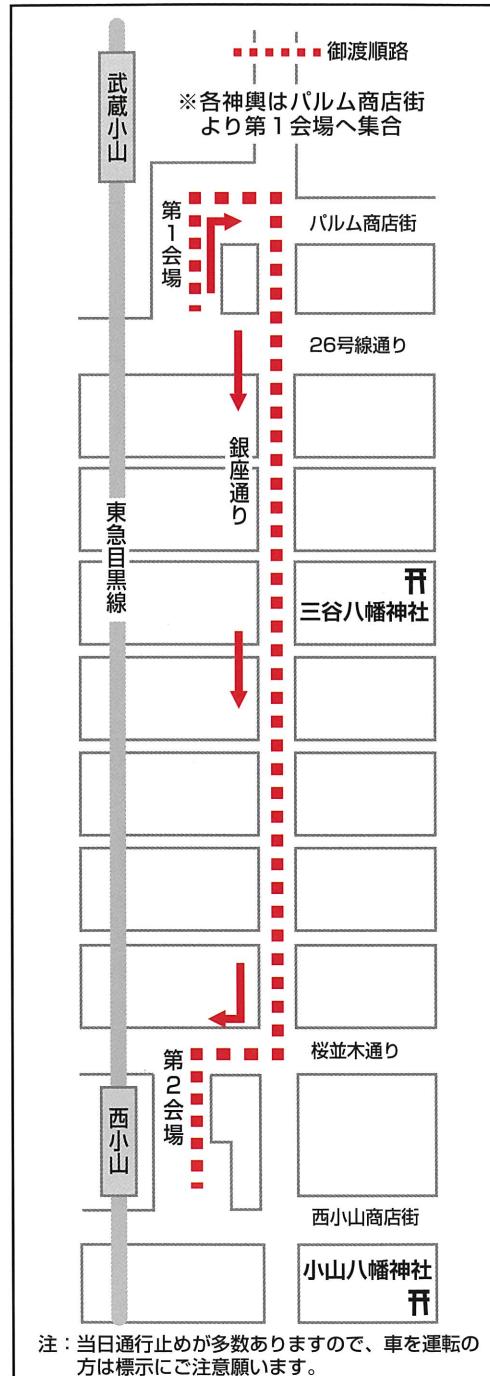
担ぎ手の皆様へ

- ・各町会指定の半纏および帶着用でご参加下さい。腰半纏は禁止です。
- ・酒気を帯びての渡御は禁止させていただきます。
- ・特にベビーカーを押している方は、隊列から外れてください。
- ・神輿の前を横切らないでください。

見物をされる皆様へ

- ・神輿にあまり近づきすぎないよう注意して下さい。
- ・ベビーカー等で見物されている方は、廻りの方に注意をしてください。
- ・荏原警察署、荏原消防署、荏原消防分団の指示にも従ってください。

神輿連合渡御順路



小山八幡神社



御祭神は誓田別尊（ほんだわけのみこと）
創立年月日は不詳。社伝に鎌倉幕府の
頃である。口伝では長元3（1030）年
には武藏国荏原郡（ごおり）小山村
全体の氏神として崇敬されたという。
小山の名は境内の小丘（古墳跡）から
きていて、品川区唯一の高台で見晴ら
しが良い。

小山八幡神社のホーム
ページは右の QR コードから



「小山両社祭神輿連合渡御」とは
「小山八幡神社」「三谷八幡神社」の両神社
共同の祭礼が「小山両社祭」と呼ばれその
ハイライトとして2日目の夜に両神社氏子
である周辺の六町会1団体が繰り出す神輿
とお囃子、手古舞等が武藏小山から西小山
までのコースを連合で渡御する。

品川百景にもなっている小山両社祭神輿連合
渡御も本年38回を迎へさらに歴史ある祭礼と
なっていくことだろう。

令和7年9月7日（日）
午後5時より午後7時15分

武藏小山駅前広場から西小山駅前広場

集合 武藏小山駅前広場

出御式 午後5時25分

出 御 午後5時40分

到 着 西小山駅前広場 午後7時

還御式 午後7時15分

両社祭



第七區二番組



昭和27年に明治の時代からあった、旧消防組が改組され、昭和29年の記念会発足時より参加している。受持区域は、小山、荏原、中延、戸越などで、その縁は平塚の平の字にちなんんでいる。

荏原四丁目

鳳和會



平成2年上州神輿製造協同組合作台輪2尺3寸高さ2m10cm重さ約300kg。彫刻や拵組に金箔を使用した総漆塗り仕上の神輿です。屋根紋は一般的な巴紋ではなく荏四の紋を施しています。

小山六丁目

六親會



昭和58年浅草宮本卯之助商店作2尺1寸5分台輪の神輿に2尺5寸仕様の装飾が豪華に付いています。神輿には干支の動物や龍の彫り物があり、鳳凰の瞳にはダイヤモンドが入っています。

荏原五丁目

豪龍會



昭和26年 本行徳十六代浅子周慶神輿師作台輪1尺8寸半世紀を超える最も伝統ある神輿です。屋根延神社型吹返し紋に荏五飾り紐は鮮やかな朱色龍巖手神輿に特殊なライトアップを施す。

武藏小山パルム

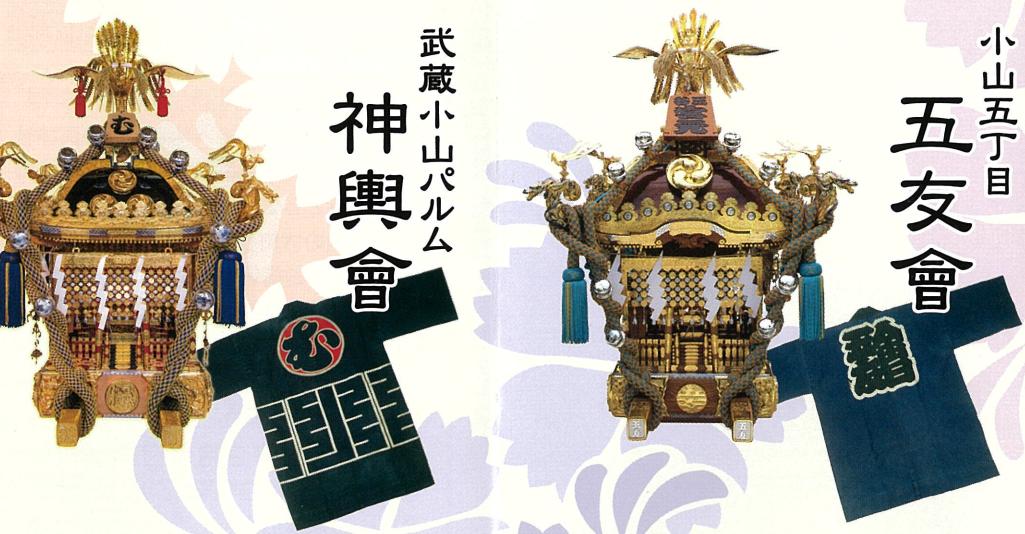
神輿會



小山町社祭最大のお神輿です。昭和53年宮師中村宗之助作屋根延神社型(江戸風白木造・部分漆塗り様式)台輪2尺8寸高さ2m25cm平成19年大神輿修繕・飾紐新調武藏小山商店街振興組合が母体です。

小山五丁目

五友會



昭和51年 木更津中村宗之助作台輪2尺3寸 高さ2m30cm白木造りで唐破風の屋根が特徴鳥居や四方の巣手に龍を抱かせている飾り紐は鮮やかな浅葱色毎年除夜祭でも担がれている。

小山四丁目



昭和61年群馬県上州神輿組合作台輪2尺3寸高さ2m20cm平成25年リニューアルにより全体の輝き装飾も一新し豪華に生まれ変りました。是非近くに来て見てください。

荏原七丁目

昇龍會



昭和55年木更津の中村宗之助作総漆塗り屋根と台輪には青貝を入れて仕上げた、台輪2尺3寸鳳凰は一回り大きい物、彫り物は友白髪の意味をもった老夫婦の人物画が描いて有ります。見て下さい。